

公益財団法人ロッテ財団 2021 年度事業報告

I 事業の状況

〔1〕奨学事業

1. 応募状況および選考結果

(1) 奨学生の選考、決定

一般奨学生については、秋採用にて、2021 年 9 月 8 日開催のリモートによる選考委員会において、推薦を依頼した 9 校からの奨学生候補者 13 名について選考審査を行い、8 名を選定し理事長が採用を決定した。春採用に関しては、2022 年 2 月 16 日開催のリモートによる選考委員会において、推薦を依頼した 17 校からの奨学生候補者 22 名について選考審査を行い、22 名を選定し理事長が採用を決定した。また、渡日前採用奨学生については、推薦を依頼した 2 校からの奨学生候補者 5 名について、2021 年 9 月 8 日開催のリモートによる選考委員会において、2 名を選定し理事長が採用を決定した。決定した合計 32 名の奨学生については、推薦のあった大学・高校に通知した。

(2) 2021 年度奨学生

2021 年度の奨学生は一般、P.B.S に渡日前採用奨学生を加えて合計 65 名で、その内訳は、大学・大学院奨学生 47 名、渡日前採用奨学生 18 名、P.B.S 奨学生 0 名である。

〔奨学生内訳〕

区 分		前年度 実績	新規 採用者	継続者	2021 年度 実績	前年 対比
一般奨学生	学部・大学院	45	24	23	47	+2
P.B.S(Post Bachelors Scholarship) 奨学生		0	0	0	0	0
渡日前採用奨学生		20	2	16	18	-2
計		65	26	39	65	0

注：新規採用者欄は前年度春季採用者数 16 名と当年度秋季採用者数 8 名の合計数

(3) 奨学金の支給

① 奨学金贈呈式

奨学生への奨学金贈呈式は、コロナ禍の影響により 2021 年 5 月 15 日オンラインにて実施した。

② 奨学金の支給

本年継続の奨学生 39 名および新規奨学生 26 名に対し、月額 18 万円の奨学金を 2021 年 4 月～2022 年 3 月まで 12 ヶ月間支給した。

但し、1 ヶ月を超え帰省する者等が発生し、一部支給を停止したため、予算計画を下回った。

また、中国からの新規渡日前採用奨学生 2 名については、コロナ禍の影響で入国が 3 月となったため、2022 年 3 月分の滞在費月額 18 万円及び、渡航支度金、大学入学金等の援助金として 108 万円を支給した。

2. 奨学援助費（合計） 134,640,000 円

3. 学業および生活状況調査

2021 年 9 月までに、継続奨学生に成績証明書を提出させた。

また、4 月、10 月に奨学生と個別にオンラインで面談し、勉学の状況、成果の現況および生活状況の報告を受けた。面談により精神面からの配慮が必要と思われる奨学生を抽出、財団内で共有し、注意深く見守るようにしている。

4. 交流活動事業等

(1) 奨学生交流会

- ・ 2021 年 5 月奨学事業贈呈式・交流会はオンラインにて実施、56 名が参加した。
- ・ 2021 年 8 月、研修旅行はオンラインにて沖縄旅行を実施し 55 名が参加した。
- ・ 2021 年 12 月、奨学生研究発表交流会をオンラインにて実施し 60 名が参加した。
- ・ 2022 年 3 月、奨学生交流会および卒業式をオンラインにて実施、66 名参加した。

(2) オンライン俳句交流会

2021 年 10 月 20・21 日 奨学生 19 名参加

(3) 新春日本文化体験

2022 年 1 月 6 日新春日本文化体験会をオンラインにて実施、37 名が参加した。

- ・ 第一部 書初め体験
- ・ 第二部 おせち料理を食しながらおせち料理の云われ等についての説明の後、各国のお正月料理を披露し合うなど、懇親会を実施

(4) 奨学生交流誌の発行

奨学生間、奨学生と財団の交流に資するため、2021 年 5 月交流誌を発行した。

〔2〕 研究助成事業

1. 主要日程

①2021 年	4 月 1 日	2022 年度募集開始
②2021 年	6 月 4 日	「奨励研究助成」受付締切り
③2021 年	6 月 25 日	「研究者育成助成〈ロッセ重光学術賞〉」受付締切り
④2021 年	7 月 10 日	若手研究者の集い（オンライン開催）
⑤2021 年	8 月 26 日	第 1 回選考委員会（書類審査）（オンライン開催）
⑥2021 年	9 月 22 日	第 2 回選考委員会（面接審査）（オンライン開催）
⑦2021 年	10 月 7 日	助成採択者理事会承認（書面決議）
⑧2021 年	12 月 16 日	第 9 回贈呈式、研究者育成助成研究発表会オンライン開催

2. 応募状況

項目	研究者育成助成 〈ロッセ重光学術賞〉	奨励研究助成	合計
大学	国公立大学 6 件 私立大学 2 件 計 8 件	国公立大学 104 件 私立大学 42 件 計 146 件	154 件
その他 研究機関	1 件	9 件	10 件
計	9 件	155 件	164 件

3. 採択者一覧 資料 A 参照（別添）

4. 研究助成金（合計） 153,499,799 円

5. 選考概要

①選考方法

従来通り「食と健康」に関連した幅広い分野からの申請があり、当助成事業の選考委員 8 名全員で申請書全件の書面審査を行い、選考委員会にて活発な議論を交わしたうえ、最終候補者を決定した。なお、「研究者育成助成〈ロッセ重光学術賞〉」においては、まず書面審査で 2 名を選考し、後日、面接審査を実施した。

②観点

「研究者育成助成〈ロッセ重光学術賞〉」については、申請者が将来自身の研究分野を切り拓き、同時に切り拓いた研究分野を先導し、社会のために広く貢献していける能力を有する研究者かどうか、さらに、「食と健康」の分野でどのように将来を展望しようとしているのかに主眼をおいて審査を

行った。

「奨励研究助成 (A)」および「奨励研究助成 (B)」は、将来、国際的に活躍する可能性を秘めた、優秀で志の高い若手研究者を対象としており、自然科学から人文・社会科学までの広域にわたる「食と健康」の分野において、研究上の独創性、チャレンジ性、萌芽性および将来性について審査を行った。

③ 選考結果

2021 年 8 月 26 日の第 1 回選考委員会にて、「奨励研究助成 (A)」の助成対象候補者 31 名、「奨励研究助成 (B)」の助成対象候補者 17 名および「研究者育成助成」の面接候補者を選出、続いて 9 月 22 日の第 2 回選考委員会にて、「研究者育成助成」の助成対象候補者 1 名を面接審査にて選出した。
その後、10 月 7 日の理事会において正式に採択を決定した。

6. その他

- ・第 5 回研究者育成助成 助成対象者の應本真氏が、2021 年 9 月 1 日より高崎健康福祉大学講師として就任。
- ・第 9 回同助成対象者の金子賢太郎氏が、2022 年 4 月 1 日より明治大学講師として就任。
- ・第 4 回同助成対象者の伊達公恵氏が 2022 年 3 月末日で、健康上の理由により助成を辞退した。

第9回(2022年度) 助成採択者

※所属機関・職位は2021年12月現在のものです。(五十音順・敬称略)

研究者育成助成〈ロツテ重光学術賞〉

●新規助成者

	氏 名	所属機関・職位	研究課題	受入機関	育成支援教員
1	金子 賢太郎 かねこ けんたろう	京都大学大学院農学研究科 食品生物科学専攻 特定助教	母乳と視床下部のコミュニケーション を支える分子基盤の解明	京都大学大学院 農学研究科食品生物科学専攻	准教授 大日向 耕作

●継続助成者

	氏 名	所属機関・職位	研究課題	受入機関	育成支援教員
1	今 理紗子 いま りさこ	星薬科大学学生体分子薬理学 研究室 特任講師	腸内細菌と水輸送タンパク質の相互 作用解析；プロバイオティクスの個別 化を目指して	星薬科大学薬化学教室	教授 細江 智夫
2	佐々木 崇 ささき たかし	東京大学大学院農学生命科学 研究科 特任助教	骨格筋における摂食応答の分子基盤 解明と筋機能改善への応用	東京大学大学院 農学生命科学研究科	教授 佐藤 隆一郎
3	山口 裕嗣 やまぐち ゆうじ	名古屋大学環境医学研究所 ストレス受容・応答研究部門 経系分野2 特任助教	絶食や食品成分により誘導される 冬眠様低代謝状態の神経基盤の解明	名古屋大学環境医学 研究所	教授 山中 章弘
4	戸田 安香 とだ あやか	明治大学農学部農芸化学科 食品機能化学研究室 特任講師	甘味・旨味受容体T1Rsの進化と食性 の多様化の関わり解明	明治大学農学部農芸化学科 食品機能化学 研究室	専任准教授 石丸 喜明

奨励研究助成(A)

	氏 名	所属機関・職位	研究課題
1	伊藤 晋作 いとう しんさく	東京農薬大学生命科学部バイオサイエンス学科 准教授	アフリカ食糧問題の解決を目指す！根寄生雑草耐性作物 の開発
2	猪股 雄介 いのまた ゆうすけ	熊本大学大学院先端科学研究部 助教	右手・左手分子の香りを区別可能なキラルガスセンサー の開発
3	岩崎 正則 いわさき まさのり	東京都健康長寿医療センター研究所 専門副部長	咀嚼嚥下機能が食事摂取状況、腸内細菌叢、および抑う つに与える影響
4	岡田 彩加 おかだ さやか	岐阜大学応用生物科学部 助教	食中毒菌カンピロバクターにおける生きているが培養で きない状態誘導機序の解明
5	緒形 ひとみ おがた ひとみ	広島大学大学院人間社会科学研究科 准教授	健康の三要素が身体的・精神的な健康に及ぼす影響 —各年代・性別に応じた検討—
6	小栗 靖生 おぐり やすき	京都大学大学院農学研究科食品生物科学専攻栄養 化学分野 助教	ベージュ脂肪前駆細胞の増殖に関わる食品・栄養因子 の探索と生活習慣病への応用
7	落合 優 おちあい ゆう	北里大学獣医学部 講師	なぜ食用昆虫タンパク質は血管疾患の指標となる血中 LDL値を低下させるのか？
8	黒谷 佳代 くろや かの	昭和女子大学食健康科学部健康デザイン学科 専任講師	高齢者のつながり構築による食事改善とフレイル予防 効果に関する情報通信技術活用研究
9	小坂 理子 こさか り子	東京大学大学院医学系研究科 助教	高齢人口と食料品店の分布の地理的(ミス) マッチ —全国を対象とした経時的分析
10	板本 卓也 いたもと たくや	東京理科大学理工学部応用生物科学科 嘱託特別講師	イモを作らない植物を用いたイモの形成を制御する新 規因子の同定と機能解析

奨励研究助成 (A)

	氏 名	所属機関・職位	研究課題
11	志南谷 渉	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻 助教	味覚情報伝達分子の構造と機能の解明
12	下畑 隆明	福井県立大学海洋生物資源学部海洋生物資源学科 准教授	腸管環境から紐解く、カンピロバクター病原性発現機構
13	白神 慧一郎	京都大学大学院農学研究科 助教	水との相互作用に着目したトレハロースの品質保持メカニズム解明
14	杉本 南	東京大学未来ビジョン研究センター 特任研究員	家庭の食に由来する温室効果ガス排出量の測定：その尺度開発と栄養素摂取量との関連
15	武田 行正	京都府立医科大学大学院医学研究科細胞再生医学 助教	ヒト褐色化を促進する信頼性の高い食品成分の同定
16	中島 健一朗	自然科学研究機構生理学研究所生殖・内分泌系発達機構研究部門 准教授	微量必須栄養素による全く新しい摂食調節メカニズムの解明
17	永安 一樹	京都大学大学院薬学研究科 助教	甘味刺激によるセロトニン活動変化と抗ストレス作用の関係の解明
18	長谷 亜蘭	埼玉工業大学工学部機械工学科 准教授	AE センシングを活用した食品テクスチャーの評価
19	馬殿 恵	大阪大学大学院医学系研究科ライフスタイル医学寄附講座 寄附講座准教授	調理指導を含めた新たな生活習慣改善プログラムの開発と実用化
20	瀬 洋平	東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科高齢者歯科学分野 助教	介護予防のためのスクリーニング法の開発 —咀嚼チェックガムを用いた自己評価
21	林 久允	東京大学大学院薬学系研究科 講師	小児肝臓癌の救命に資する栄養素機能の実用化に向けた研究
22	藤島 裕也	大阪大学大学院医学系研究科内分泌・代謝内科学 助教	日本人オリジナルな新規食嗜好質問表の開発とその臨床的応用
23	丸山 健太	自然科学研究機構生理学研究所 特任准教授	糞便RNAワールドの制御による腸と骨の健康維持法開発
24	宮内 栄治	理化学研究所生命医科学研究センター 上級研究員	食物繊維による中枢神経系炎症の制御
25	富地 孝明	岡山大学自然生命科学研究支援センターゲノム・プロテオーム解析部門 研究教授	プリン作動性化学伝達を制御する機能性栄養代謝物による疾患予防
26	宮本 潤基	東京農工大学大学院農学研究院 テニュアトラック准教授	加齢に伴う腸内環境変化とエネルギー代謝調節に及ぼす影響
27	向山 順子	神戸大学大学院医学研究科外科学講座食道胃腸外科学分野 医学研究員	ケトジェニックダイエットによる腸内細菌叢の変化と大腸癌発癌リスクの検討
28	村尾 和哉	立命館大学情報理工学部 准教授	アクティブ音響センシング技術を用いた食材および調理認識技術に関する研究
29	森川 勝太	東京大学大学院薬学系研究科 特任研究員	全脳レベル選択的神経細胞マッピングによるおいしさを表現する神経回路の解明
30	森本 雄矢	東京大学大学院情報理工学系研究科 准教授	収縮運動可能な培養肉の自動形成および品質評価技術の確立
31	山梨 義英	東京大学医学部附属病院薬剤部 助教	植物由来脂質が生体機能に及ぼす影響とその分子機構の解明

奨励研究助成(B)

	氏 名	所属機関・職位	研究課題
1	相原 允一	東京大学医学部付属病院糖尿病・代謝内科 助教	COVID-19流行が糖尿病患者の治療状況および食生活に及ぼした影響の網羅的解析
2	江島 弘晃	長崎国際大学人間社会学部国際観光学科 講師	サルコペニアを防止する新規ペプチドの作用機序解明と運動との相乗効果の検討
3	大野 祐介	北海道大学大学院薬学研究院 助教	ビタミンCによるヒト表皮セラミド合成促進と皮膚バリア機能亢進の分子機構解明
4	岡田 健志	大阪大学大学院医学系研究科総合地域医療学寄附講座 寄附講座助教	食事由来7-ケトコレステロールによる脂肪肝、動脈硬化、心筋症発症分子機構の解明
5	熊谷 祐也	北海道大学大学院水産科学研究院 助教	陸上栽培における紅藻の品質安定化技術の開発
6	河野 通仁	北海道大学病院リウマチ・腎臓内科 特任助教	自己免疫性疾患における抗炎症性代謝産物の腸内細菌叢ならびに疾患活動性への影響
7	佐々木 裕之	早稲田大学先進理工学部電気・情報生命工学科 助教	高血圧予防を目標としたカリウムの摂取タイミングおよび排泄機構の時間栄養学的研究
8	清水 真祐子	徳島大学大学院医療薬学研究部疾患病理学分野 助教	うつ病における脳腸相関メタボロミクスと唾液による発症予測法の確立；モデル動物研究
9	白石 哲也	山形大学学術研究院 准教授	魚醤の起源を探る —日本人はいつから魚醤を食べるようになったのか—
10	津上 優作	広島大学大学院統合生命科学研究科 助教	安全で持続的な酪農生産に向けて新たな乳房炎対策を提案するための基礎的研究
11	野田 響子	お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系 助教	メイラード反応生成物perilolryneのビール製造工程における生成機構解析
12	濱本 明恵	岐阜大学工学部化学・生命工学科生命化学コース 助教	絶滅危惧植物ヌマダイコンの新規効用解析
13	藤谷 美菜	愛媛大学大学院農学研究科 講師	代替タンパク質源「蚕」昆虫食の骨格筋増大作用の解明
14	別府 史章	北海道大学大学院水産科学研究院 准教授	エーテル脂質代謝を介した脂質形成促進機構の解析
15	ミルマン ジャスミン	琉球大学医学部内分泌代謝・血液・膠原病内科学 講座 ポスドク研究員	エクストラバージンオリーブオイルによる新規の老化関連障害予防メカニズム解析
16	吉永 和明	福島大学食農学類 准教授	人体に有害なトランス脂肪酸の特定
17	渡邊 善之	富山大学附属病院第一内科 医員	栄養素によって構成される腸内細菌叢を介した小腸栄養トランスポーターの制御機構

Ⅱ 処務の概要

1. 会議等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	付議事項	会議の結果
2021年5月18日 第46回	1. 「2020年度事業報告および計算書類等承認」の件 2. 「内閣府への事業報告等に係る提出書類承認」の件 3. 「評議員会招集承認」の件 4. 「評議員選任に関する議案概要承認」の件 5. 「奨学事業選考委員選任承認」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決
2021年6月1日 第47回	1. 「議決権行使に関する承認」の件 2. 「事務局長選任」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決
2021年10月5日 第48回	1 「2022年度研究者育成助成〈ロッセ重光学術賞〉助成対象者承認」の件 2. 「2022年度奨励研究助成（A）助成対象者承認」の件 3. 「2022年度奨励研究助成（B）助成対象者承認」の件 4. 「2021年度上半期研究論文作成・掲載・経費助成対象者承認」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決
2022年3月16日 第49回	1. 「2022年度事業計画・積立金取崩し・収支予算・資金調達および設備投資の見込みを記載した書類承認」の件 2. 「2021年度下半期研究論文作成・掲載・発表経費助成者承認」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決

(2) 評議員会

開催年月日	付議事項	会議の結果
2021年5月28日 第10回	1. 「2020年度決算承認」の件 2. 「評議員改選承認」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決

(3) 選考委員会

①奨学事業

開催年月日	付議事項	会議の結果
2021 年 9 月 8 日 第 1 回	1. 「議事録署名人選出」の件 2. 「2021 年度一般奨学生（秋採用）候補者決定」の件 3. 「2021 年度中国渡日前採用奨学生候補者決定」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決
2021 年 12 月 11 日 第 2 回	1. 「議事録署名人選出」の件 2. 「奨学金支給期間延長奨学生候補者決定」の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決
2022 年 2 月 16 日 第 3 回	1. 「議事録署名人選出」の件 2. 「2022 年度一般採用奨学生（春採用）候補者決定」の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決

②研究助成事業

開催年月日	付議事項	会議の結果
2021 年 8 月 26 日 第 1 回	1. 「2022 年度研究者育成助成 面接候補者決定」の件 2. 「2022 年度奨励研究助成（A）助成対象候補者決定」の件 3. 「2022 年度奨励研究助成（B）助成対象候補者決定」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決
2022 年 9 月 22 日 第 2 回	1. 「2022 年度研究者育成助成対象候補者決定」の件	全員一致で承認・可決

Ⅲ 特記事項

2021 年もコロナウイルスの蔓延が継続し、収束の兆しが見えない中での財団運営となり、多くの制限を受けた活動となった。

財団事務所の IT 環境の整備、通信回線の増設工事を行い、スムーズなオンラインシステムの活用と、在宅勤務等による財団運営業務等、支障なく進められる仕組みも構築した。奨学事業ではすべてのイベントをリモート形式で行った。交流会（贈呈式、卒業式）はもとより、ロッテ財団の奨学生としての自覚の醸成やモチベーションの向上を図るため、Web による個別面談の実施や日本文化体験のための俳句の会や書初め会等企画し、これまでの支援と比べ質を落とさぬよう創意工夫し取り組みを行った。

研究助成事業においても、選考会議や贈呈式は全てリモート形式で実施した。

又、理事会、評議員会については、決議の省略の方式による手続きを行った。

今後も、新型コロナウイルスの動向を注視し、与える社会的な影響を踏まえて財団の運営に当たり、柔軟な対応を行っていく所存です。

事業報告に係る附属明細書

記載する事項無し

以上